

記載例

様式第1号（第6条、第8条関係）

令和6年3月●日

庄内町長 富 樫 透 様

申請者 住所又は所在地 〒999-7781 庄内町●●字●●1-1
氏名又は名称 株式会社●●●●●
及び代表者氏名 代表取締役 ●●●●●
電話 0234-●●-●●●●

令和5年度庄内町畜産農家等応援補助金交付申請書

補助金の合計額を記入

(上限に達する場合は上限額

(600,000円または900,000円)を記入)

受補助金（下期分令和5年10月1日から令和6年3月31日まで）

等の適正化に関する規則第4条

別紙で算出された補助金の額を記入

※金額を必ず記入し申請しなさい。

交付申請額 (内訳)	円	円		
(1) 飼養家畜に対する補助金額		円		
(2) 売却した子牛に対する補助金額		円		
(注)1 交付申請額は、上期下期のそれぞれの期間において60万円が上限（令和5年2月1日時点で3,000頭以上飼養する養豚経営者は90万円が上限） 2 交付申請額の算出明細は、補助対象家畜毎に別紙に記入すること。				
輸入飼料を低減する取組内容	別紙をご参照ください。			
添付書類	(1) 子牛の売却の実績を証する書類の写し (2) その他 ()			
振込先	金融機関名	●●銀行	店名	●●支店
	種目	普通・当座・その他 ()	口座番号	0123456
	フリガナ	カブシキガイシャ●●●●ダイヒョウトリシマリヤク●●●●		
	口座名義人	株式会社●●●● 代表取締役●●●●		

同意書

令和5年度庄内町畜産農家等応援補助金交付要綱に基づく補助対象者の要件を審査するため、私及び私の世帯員（当法人）の税務資料を閲覧することに同意します。

令和6年3月●日

住所又は所在地 〒999-7781 庄内町●●字●●1-1
氏名又は名称 株式会社●●●●●
及び代表者氏名 代表取締役 ●●●●●
生年月日 年 月 日（個人の場合）

記載例

(別紙)

交付申請額の算出明細

補助対象家畜が複数ある場合は、
補助対象家畜ごと作成してください。

1 飼養家畜に対する補助金額

- (1) 補助対象家畜 肉用繁殖雌牛 肉用肥育牛 乳用雌牛 繁殖雌豚
採卵鶏

(2) 算出明細

対象月	飼養数	補助金の額	備考
4月	20頭	9,600円	
5月	20頭	9,600円	
6月	20頭	9,600円	補助単価は別紙のご案内文書 またはチラシをご確認ください。
7月	20頭	9,600円	
8月	19頭	9,120円	
9月	19頭	9,120円	
合計		56,640円	

備考

- 飼養数は、毎月初日における数（6月から10月までの期間については、当該月初日に庄内広域育成牧場に放牧中の牛を除く。）を記入してください。
- 補助金の額は、毎月初日における飼養数に、別に定める額を乗じて得た額を記入してください。

2 家畜市場において売却した子牛に対する補助金額

- (1) 補助対象家畜 黒毛和種 交雑種

(2) 算出明細

対象月	売却数	補助金の額	備考
4月	1頭	7,100円	
5月	1頭	7,100円	
6月	2頭	14,200円	補助単価は別紙のご案内文書 またはチラシをご確認ください。
7月	1頭	7,100円	
8月	2頭	14,200円	
9月	1頭	7,100円	
合計		56,800円	

備考 補助金の額は、売却した子牛の数に、別に定める額を乗じて得た額を記入してください。

交付申請書記載例（別紙）

交付申請書における「輸入飼料を低減する取組内容」の記載内容について

この補助金は、**輸入飼料低減の取組み**が条件となっています。現在取り組んでいる場合のほか、取組みについて指導を受けている場合や、見込みがある場合も対象です。

記載内容について以下に例示しますが、例示されていないものでも構いません。

取組内容をできるだけ具体的に記入してください。

（記載例）

- ・庄内地域産の●●（飼料用作物 例：飼料用米、子実用トウモロコシなど）を利用している。
- ・自給飼料として牧草（品種名）を生産し給与している。
- ・輸入飼料（例：牧草）を庄内地域産飼料（例：牧草）に代替するため農業技術普及課の指導を受けている。
- ・庄内地域産●●（飼料用作物 例：粳米SGS）を利用するため、飼料の配合の見直しについて農業技術普及課の指導を受けている。
- ・飼料要求率を改善する取組みとして●●（例：自動給餌機等による適量給与 など）を実施している。 など